

# ミライクNews

番外編



学生に聞いた!

「性別の違いによって感じる  
“モヤモヤ”ってある?」

11月に開催される日本女性会議2020あいち刈谷（ミライク会議）に向けて、現在学生ジャーナリストをはじめ、計18人の学生企画・広報ボランティアが活動しています。今号は、その学生たちに、普段の生活の中で感じる疑問を聞きました。

## イマドキの学生が思う、日常のギモン



学生のギモン

### 1 「力仕事は男性がするもの?」

アルバイト先で、男性だけが灯油を補充するというルールがあった。体力に自信のない男性もいたし、私も力になりたかったけど、言い出しにくい雰囲気だった。性別で役割を分けるのはどうなのかな。



学生のギモン

### 2 「家事や育児は女性の仕事?」

我が家は父がご飯を作っているが、それを友人に言った時「すごいね」と褒められた。母が作っている場合は褒められないのに。

また、ある企業説明会では、「育休はしっかり取れるので、女性でも安心して働けます」と言っていたが、家事や育児をするのは男性も同じではないの?



学生のギモン

### 3 「就活時のスカートやパンプス、誰が決めた?」

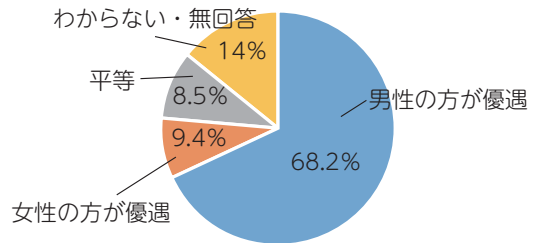
就活時の服装で、「スカートの方が女性らしくフレッシュな印象を与える」という記事やヒールのあるパンプスを履くことが主流になっていることに違和感がある。

個人的にはパンツスーツの方が好きだし、ヒールは履き慣れなくて靴擦れするから苦手。

### 学生のギモンまとめ

何気ない日常生活や、社会との関わりの中で、性別の違いによる“モヤモヤ”を少なからず感じていることがわかりました。学生を対象に行った男女平等参画に関する意識調査でも、「男女の地位は平等になっていると思うか」という質問に「平等」と回答した人は8.5%にとどまっています。

Q. 社会全体で、男女の地位は平等になっていると思うか。



対象 名古屋市域の大学に在籍する学生2,006人

出典：名古屋市男女平等参画推進会議「男女平等参画に関する大学生の意識調査（調査結果報告書）」(平成28年)

## 「参加」ではじめの一歩を踏み出そう

ミライク会議は、皆さんが感じる「どうして女性だけ?」、「どうして男性だけ?」など、身の回りで感じる疑問をはじめ、社会のさまざまな事柄を、多角的な視点で考えることができる会議です。

社会は多様な人々で成り立っている。そんな「当たり前」が尊重され、誰もが「かけがえのない」存在として大切にされる社会を目指しています。

まずはミライク会議に参加して、一緒に考えませんか。

## 学生企画・広報ボランティア募集!

ミライク会議を一緒に盛り上げてくれる仲間を募集します。SNSでの情報発信や大学へのPR活動など、学生目線のアイデアが必要です! あいち電子申請・届出システム(QRコード参照)からぜひ応募してください。



▲あいち電子申請・届出システム

主な活動…大会運営に携わる人や企業などを取材し、その内容をSNS・HP・広報紙などで情報発信したり、大会PRを大学生に向けて行ったりします。

